

7-7-1 CIM対応SWG

1. 主な活動の記録

(1) SWGの活動目的と実施体制

国交省が主導する i-Construction 及び CIM 導入推進施策に関し、H29 年度より施行予定の「CIM 導入ガイドライン」他、関係要領・基準類のフォローアップ等の技術検討を実施するため、関連委員会ならびに WG 等に継続参加し、当協会意見を反映したこれら技術資料の策定支援を目的とした。

特に、「CIM 導入ガイドライン (案)」は、共通編の他、土工、河川、ダム、橋梁、トンネルの5つの専門分野で構成されるが、これらのうち道路土工と河川築堤に関しては、i-Construction の対象分野でもあり、当 SWG では、ICT 技術の活用ならびに建設事業における生産性向上を目指して、技術検討に取り組んだ。

なお、実施体制として、技術委員会及び ICT 委員会と協働して技術的検討に取り組み、検討内容については、各委員会報告及び協会掲示板等により情報共有を行った。

(2) 今年度の活動概要

a) CIM 対応 SWG (H28-12 月度幹事会)

- ・CIM 導入の課題と対策、WG 活動情報の共有

b) CIM 導入推進委員会

- ・CIM 試行事業の実施状況、CIM 導入ガイドライン (案) の審議、各 WG (要領基準改訂、入札契約制度、国際標準化) の検討結果等 (H28-6, 11 月度、H29-3 月度)

c) 分野別 CIM 導入ガイドライン策定 WG

- ・各技術分野における設生産システムの状況把握、ガイドライン素案作成等 (5 分野毎 (3~6 回程度/年))

d) 要領・基準、国際標準化 WG (2, 3 回/年)

e) i-Construction 委員会

- ・H27 年度決定の基本方針に準拠し、傘下の協議会にて検討を実施

f) ICT 導入協議会

- ・H28 年度運用中の要領・基準類 (15 規程)

の状況、ICT の活用効果と工種拡大、自治体への拡大展開等 (H28-5, 11 月度、H29-3 月度)

g) コンクリート生産性向上検討協議会

- ・生産性を高める技術の普及のため、規格の標準化検討を実施 (機械式定着工法、機械式継手、プレキャスト工法、スランプ規定の見直し、全体最適を図る生産プロセス等) (H28-9 月度、H29-3 月度)

h) i-Construction 推進コンソーシアム

- ・NPO 等の民を加えた産学官連携による施策推進を実施。3 次元データ活用検討等にかかる意見交換を実施。(H28-11 月度準備会、H29-1, 3 月度総会・意見交換会)

i) 国土交通省との意見交換 (CIM、i-Con 関連)

- ① ICT 施工にかかる今後の課題について
- ② 3 次元測量データの取扱い、データ変換、3D モデル作成要領 等について

j) 新聞記事等への寄稿

- ・日刊建設通信新聞 CIM 特集 2017 「ICT 活用で建設生産はどう変わるか」への投稿 (國島 ICT 委員長)

2. 次年度の活動について

(1) 技術検討等

H29 年度に施行予定の「CIM 導入ガイドライン」他、関係要領・基準類のフォローアップ等の技術検討を実施する。また、各委員会及び WG に継続参加し、各種委員会の他、関係諸団体と協調して技術的支援に取り組む。

(2) 技術講習

ICT 委員会主導の CIM 技術セミナーの開催を支援し、設計段階での 3D モデルの活用事例や現状と課題等について、協会内外に向け情報発信を行う。

(3) 技術研修

CIM チャレンジ研修 (JACIC) における演習課題作成委員会に参画する。CIM に関わる技術者層の増大を目指す。

(CIM 対応 SWG SWG 長 加藤 雅彦)